

(機構・協会用)

### ① 保証依頼書(兼保証委託契約書)

公益財団法人  
日本国際教育支援協会理事長 殿

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、公益財団法人日本国際教育支援協会(以下「協会」といふ。)がその保証業務及び独立行政法人日本学生支援機構(以下「機構」といふ。)がその保証業務を遂行するために利用されます。この利用目的の達成を範囲内において、当該情報(奨学金の返済状況に関する情報を含む。)が、学校、金融機関及び関係者等に先ず利用して提供されず、その他の目的には利用されません。また、当該情報が保有する個人情報のうち保証業務に必要な情報のみに提供されます。

申込日 平成 29年 4月 14日  
(返還誓約書に印字された日付を記入)

私は、独立行政法人日本学生支援機構(以下「機構」という。)の奨学金の貸与を申し込むにあたり、機構に対するインターネットによる奨学金申込の入力内容又は奨学金申込書の記載内容並びに確認書の記載内容により申込みをする奨学金の貸与(返還)について保証することを更前記載の保証委託契約に同意したうえで、公益財団法人日本国際教育支援協会に委託します。

学校名	経済	経済	奨学生番号
日本学生支援大学	経済	経済	6170400000
学校の種類	学(学部)	大学院	短期大学
フリガナ	シヨウガク	タロウ	学籍番号
氏名	奨学	太郎	123456
現住所	〒162-8045	東京都新宿区市谷本村町	10-7
電話番号	03-0000-0000		
携帯電話	080-0000-9999		

### ② 保証料支払依頼書

独立行政法人 日本学生支援機構理事長 殿  
公益財団法人 日本国際教育支援協会理事長 殿

依頼日 平成 29年 4月 14日  
(返還誓約書に印字された日付を記入)

上記保証依頼書による保証委託契約に基づいて、私が公益財団法人日本国際教育支援協会に支払うべき保証料については、

氏名	奨学	太郎
現住所	〒162-8045	東京都新宿区市谷本村町
		10-7

### ③ 親権者(後見人)同意書

独立行政法人 日本学生支援機構理事長 殿  
公益財団法人 日本国際教育支援協会理事長 殿

同意日 平成 29年 4月 14日

氏名	(父・後見人)	奨学	一郎	生年月日	36年 2月 2日
現住所	〒400-0000	山梨県甲府市甲府	1-2-3		
電話番号	055(000)0000	携帯電話	090(0000)9999		
氏名	(母)	奨学	春子	生年月日	38年 3月 3日
現住所	〒400-0000	山梨県甲府市甲府	1-2-3		
電話番号	055(000)0000	携帯電話	090(9999)0000		

(注) 1. マス目の欄はすべて左詰めとしてください。  
 2. 本人が未成年者(20歳未満)の場合には、親権者(父及び母)がそれぞれ自署・押印(いずれかがない場合は一人)してください。後見人の場合は、後見人が自署・押印してください。  
 3. この保証依頼書及び保証料支払依頼書については、返還誓約書と同時に学校に提出してください。

〔学校使用欄〕  
 学校番号 区分  
 10490000  
 (機構・協会用) (1704)

### ●保証依頼書(兼保証委託契約書)・保証料支払依頼書・親権者(後見人)同意書 記入上の注意

- (1) 黒又は青のボールペンを使って記入してください。ただし、消せるボールペンや時間の経過により字が消えるボールペンの使用は認められません。
- (2) あなた(奨学生本人)及び親権者・後見人欄は、必ず各自が必要事項を記入・署名し、返還誓約書と同様に印鑑は各自のものを使用し、朱肉で鮮明に押してください。不鮮明の場合は、印影を二重線で削除し、その直近で、かつ、当該者欄内に、新たに鮮明に押印してください。スタンプ印・ゴム印等の使用は認められません。
- (3) 記入を誤った場合は、誤った部分を二重線で消して訂正する人物の印を二重線上に押し、各欄内に正しい事項を記入してください。訂正後に必要事項を記入・署名する余白がない場合は、新たな保証依頼書(兼保証委託契約書)に書き直してください。
- (4) 修正をする際、紙貼り、修正液、字消し等を使用すること、なぞり書きをすることは認められません。
- (5) 奨学生番号は必ず記入してください。
- (6) 住所欄は現在お住まいの住所(現住所)を記入してください(返還誓約書の本人住所は住民票に記載の住所であるため、一致しない場合がありますが、差し支えありません)。住所欄に「同上」と記入することは認められません。正しく記入してください。
- (7) その他、記入例及び保証依頼書欄外(注)を参照のうえ、正しく記入してください。
- (8) 記入・署名・押印後、「機構・協会用」を提出してください。

### (左ページ解説)

- ① 返還誓約書の借入金額欄右上に印字されている日付(誓約日)を記入してください。
- ② あなた(奨学生本人)の記入・署名・押印欄は2箇所あります(押印は同一の印を使用してください)。また、住所欄は現在お住まいの住所(現住所)を記入してください(上記(6)参照)。
- ③ 誓約日の時点で、あなた(奨学生本人)が未成年者(20歳未満)の場合には、親権者(後見人)の記入・署名・押印が必要です。親権者は、返還誓約書に記載されている人(親権者(1)、(2))と一致させ、(父、後見人)欄に父又は後見人が、(母)欄に母が記入・署名・押印してください。後見人とは、民法に定められている未成年後見人のことです。